

4481 ママチャリ冬の旅：赤煉瓦街・港の風景① 157

夜の空港、港の風景。私には寂しさなどない。夢想と想像、夢とロマンの世界。

幼少から鍛えられている。経営者もアーティストも、**孤独な仕事**。

年齢を経て、多様な体験をしたことで、この状況は、久楽には有難い至福の時間。
薄暮。最高の環境。詩や短歌、思い浮かべば最高なのだが… 勉強の余地があり目標の一つ。

母校の創立者、新島襄の冒険への旅立ちの記念像もある。ロマンのひと時。



と言いながら、服も濡れていて、足元の寒さが、半端でなくなってきた。

火や暖が、恋しい。 レストランもいいが、ホテル近くに、**どんぶり横丁**を確認している。

ママチャリには、雪が付着している。体験上、明日の対策も必要。

今日は、風もある。まだ、身体が慣れていない。

函館駅にも行って、運行状況や資料も再確認。テイクアウトのコーヒーもある。

